



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ.K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1992. 2 . 4

累計 No 256

当年 No 31

会長／山上 茂 夫

幹事／堀川 正 幸

SAA／味方 義 一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：卓話「親孝行したくないのに親がいる」斎藤 正君

出席：本日の出席 53名中39名

先週の出席率 53名中51名 96.23%

1月の出席状況 会員数53名 例会数4回 平均出席率92.46%

先週のメークアップ：1月30日 新潟西RCへ 山上茂夫君

2月3日 三条南RCへ 本間茂男君 中条耕二君 加藤 実君

ビジター：三条RCより 関本哲秀君 山本福七君 伊藤広一君 野村竹三郎君

三条南RCより 舟久保孝志君 若林幸哉君 坪井正康君 吉田秀治君

吉田行雄君 長谷川晴生君 西村吾一君

会長挨拶：山上茂夫

今日は三条クラブから野村さん、伊藤さん、山本さん、関本さん、三条南クラブから吉田行雄さん、船久保さん、長谷川さん、西村さん、若林さん、坪井さん、吉田さんようこそお越し下さいまして有難うございました。多数のゲストの皆さんのお陰で、北クラブも大変盛会でございます。

さて昨日は節分で本成寺ではいろいろ節分行事が行なわれ、鬼おどりなどもありました。節分には豆を（年の数だけ）食べる習慣もありますが、皆さん豆はお食べになったでしょうか？ 今日はい替りまして立春です。今日から一つの節目がはじまるということで、本当の春がはじまり一年の見通しを立てて心はずませる節目でもあらうかと思ひます。

高齢化社会も進んで参りまして、職業安定所の方できくところでは高齢者の求人倍率が少しづつ高くなってきている相です。と言うのは若い方が少なく定着しないということになりますといきおい企業も高齢者を対象とする。期待するということになります。

ところで高齢者雇用対策の一環として、国では可成りの助成金を出しております。これは60歳以上の定年を更に65歳まで延長することによって高齢者が65歳の年金をもらうまで安定した生活をおくれる様にとの配慮と、労働者不足の対応として労働省が本腰を入れている助成でもあります。

また半面、三条市でも子供達が年々少なくなっております。因みに三条新聞によれば現在三条市の小学校のうちで新らしく入学する児童の数は減っておりますが、入学する児童の多いのは一ノ木戸小学校であり、大崎小学校、四日町小などとなっている様で、殆んどは横這い減少となっております。このことは当然若い親や労働者の減少でもあり、その為高齢者の割合が増える結果となっております。

昨年の統計ですが新潟県では全体の労働者のうち55歳以上の人が占める割合は20.7％に達している相です。

また、先般の文教審の答申によれば、今年度から学校も（土）（日）が休みになるとも伝えられています。そうすると当然子供さんが家族と過ごす時間が多くなる、お父さんも子供と付き合いなければならぬことになる、これは大変よいことと思います。子供が社会勉強をする。ボランティアなどで社会参加をする。これは大変よい機会であると思います。

お父さん達も1週46時間から44時間に短縮され、十分な休養がとれると言うことですが、子供さん達だけを塾へ追いやる様な結果になってはいけないなとも思います。小さな子供さん達が学校へ行かないとなれば、お父さんお母さんが共働らきであればそれもできないと言う問題もあり、その実施となりますといろいろ于余曲折もあろうかと思えます。

これ等を考えますと時代はどんどん変化しているのだなあと思えますし、この機会に子供さん達と一緒に社会参加をしてゆく、また、社会の仕組みを教えてゆくのが私達のつとめではないかと思えます。

今日は斎藤正さんの「親孝行したくないのに親がいる」というテーマでお話を頂く予定です。親御さんの長寿、それはそれで喜ばしい事ですが、またそれによっていろいろな社会的な問題が提起されている様であります。私達はいつまでも試行錯誤しながら生活してゆかなければならない訳で、毎日毎日を勉強してゆかなければならないと思います。つまらない事をお話しましたが、御挨拶と致します。どうも有難うございました。

幹 事 報 告： 堀川幹事

◇R I 会長ラジェンドラK. サブー会長ご夫妻日本公式訪問のご案内

日 時 3月24日（火）16:00～20:00

会 場 品川パシフィックホテル

◇R C 名変更のご案内

旧R C 名 柿崎R C

新R C 名 頸北R C

旧R C 名 塩沢R C

新R C 名 雪国魚沼R C

◇前橋北R C 創立10周年記念式典のご案内

日 時 5月17日（日）

本は二〇％に過ぎなかったという。その原因は一体どこにあるのだろうか。超一流経済国といわれて久しく、豊かさはまさに素晴らしいことではあるけれど、子ども達を忘れた豊かさであってはならない気がする。

以前、新潟日報の日報抄にこんな話が載っていた。朝日新聞テーマ談話室「こども」に投稿されたものである。千葉県徳光さんは、修学旅行へ行くのに、おやつは母親の手作りのまんじゅうとゆで卵二個であった。親は一日五十銭の旅行費用を出すのすら難しかったのだ。さて、好きなゆで卵を食べようと思っていると、S君が干し柿を取り出し出している。干し柿は母親の好物であった。S君に、ゆで卵と干し柿の交換を申し入れると、卵二個ならよい、という。商談は成立したが、旅館に着いてもおやつがない。夜、ふとんの中で柿のヘタを取ってなめた。翌日、家へ帰って母親に干し柿のみやげを出し、訳を話した。母親はしばらく絶句した後、子をひしと抱き締め、大粒の涙を流した。

次代を担う青少年を育むのは、大人の責務である。表題の様な社会ではなく、一人でも多くのゆで玉子の少年を育ててゆきたいものである。

2 月のお祝い

誕生祝い				結婚祝い			
石川友意君	2 日	笹原 共子様	7 日	吉川 吉彦・直子ご夫妻	7 日		
小林 満君	4 日	山本みち子様	1 0 日	五十嵐英雄・笑子ご夫妻	1 3 日		
吉田春雄君	1 0 日	坂内 智恵様	1 1 日				
落合益夫君	1 4 日	馬場美恵子様	1 4 日				
佐藤文夫君	2 5 日						

定 例 理 事 会

開 催 日 時 平成4年2月4日（火）11:30～12:30

開 催 場 所 三条ロイヤルホテル

出 席 者 山上茂夫 堀川正幸 今井克義 高橋彰雄 長谷川博一 味方義一 佐藤義英
丸山誠一 稲田憲治 木宮 隆

議 事 1、ボランティア事業基金の件 継続審議
2、鮭稚魚放涼について 承認
3、バングラディシュ災害救援金寄付追認の件 承認
4、ジブラルタルR C 創立25周年記念金貨購入依頼の件 各自自由購入とする

報 告 事 項 芦田義重会員近火見舞い（12／25）の報告

2 月11日例会： 建国記念につき休会

2 月18日例会： 国際奉仕月間にちなんで Lynn Hegg

2 月25日例会： 親睦委員会会員支流企画 国際理解はまず話すことから